

目飛び対策に

ORGAN® NEEDLES INFORMATION

NY2 シリーズ

ミシンの高性能化・高速化に伴い、生産性に支障をきたす
“目飛び”トラブルが増えています。

「ミシンの回転は上げたいが、目飛びが怖い」といった問
題に応えるミシン針がNY2シリーズです。



目飛びの発生要因を徹底的に究明し、これらとミシン針と
の関係を見極め、その成果を生かして開発されたのが目飛
び対策アイテム・NY2シリーズです。

NY2は、縫製現場の更なる生産性の向上をお約束します。

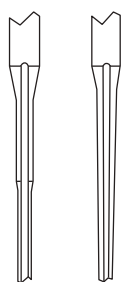


ORGAN NEEDLE CO., LTD.

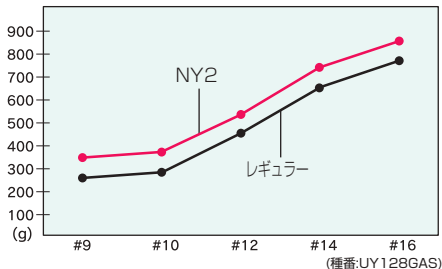
目飛び対策に！

種別名	7	8	9	10	11	12	14	16	18	19	20	21	22	23	基本種別
DB×1-NY2			●	●	●	●	●	●	●	●					DB×1,1738,16×257
DP×134-NY2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	DP×134,DP×5,134R,135×5,797
DP×17-NY2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	DP×17,135×17,2167,SY3555
DP×35R-NY2							●	●	●	●	●	●	●	●	DP×35R,134-35
DO×558-NY2						●	●	●	●	●					DO×558,558
UY×128GAS-NY2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		UY128GAS.MY1040

レギュラー NY2



強度試験



■NYテーパブレード(針幹)形状

目飛びの発生原因と対策 <その1>

目飛びは、針と剣先又はルーパーとのクリアランスが広がることで発生します。調整を行っても、針が弱く、振れてしまえば、適正なクリアランスを維持することはできません。

NY2シリーズは、従来の2段タイプと異なり針幹はロングテーパー形状を採用し、高速縫製時の針振れを激減させてます。従来品と比べ、約30%の強度アップを図りました。(当社比)

■NY2専用クリフスカーフ形状

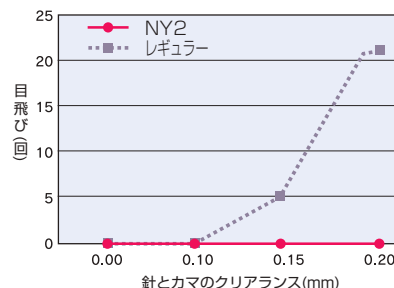
目飛びの発生原因と対策 <その2>

ミシンの高速化や生地や糸の多様化に合わせ、針に形成されるループは益々不安定になる傾向にあります。この結果、剣先やルーパーが確実にループをキャッチできず目飛びが発生してしまいます。

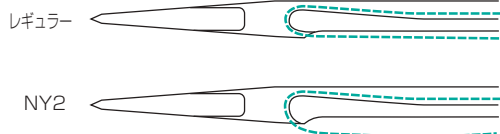
NY2シリーズに設定した専用エグリ形状は、通常よりも長く深く深いクリフスカーフを採用。繊細な針設定の中でも目飛びのトラブルを出来るだけ抑えるよう設定しております。

エグリ形状比較

NY2 レギュラー



糸の出口(立ち上げ)



■NY2専用穴形状

目飛びの発生原因と対策 <その3>

確実なループ形成には、針の穴(糸の出口)の形状が与える影響が大きく、糸と針との間の空間が確実に確保されなければなりません。

NY2に設定した専用穴形状は、糸の出口面の立ちあげ角度を最適化することにより、十分な空間を確保しています。ループが全く出来ない条件でも、剣先やルーパーが必要とする最低減の空間を確保しています。

■スリム形状

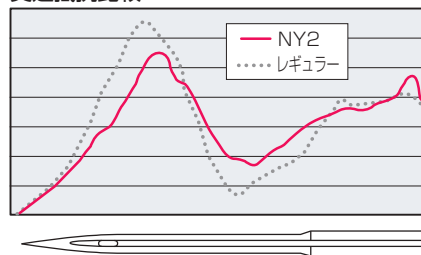
目飛び発生原因と対策 <その4>

先端部を細身(スリムポイント)にし、貫通抵抗値を大幅に削減したことにより、NY2シリーズが強固な生地へもスムーズに貫通し、目飛びを引き起こす針振れの発生を抑えます。また、スリムポイントは地糸切れの発生率を低減させる効果もあります。

レギュラー NY2



貫通抵抗比較



オルガン針株式会社

〒386-1436 長野県上田市前山1番地

TEL:0268-38-3363 FAX:0268-38-3590

www.organ-needles.com

E-mail:sales-dpt@organ-ndl.co.jp

©ORGAN 2015.6.3000 All rights reserved